

学校教育目標	「輝くひとみ 仲間とのびる 下野庭の子」					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもって、ねばり強く取り組んでいこうとする子を育てます。(知)</li> <li>・生命を大切にし、自分のよいところを知り、伸ばそうとする子を育てます(徳)</li> <li>・自らの生活を見つめ、健康な心と体をつくろうとする子を育てます。(体)</li> <li>・できることをすすんでやり、みんなの役に立とうとする子を育てます。(公)</li> <li>・互いを認め合い、人や地域とよりよくかかわろうとする子を育てます。(開)</li> </ul>					
学校概要	創立 47 周年	学校長 黒木 英晴	副校長 福井 伸人	2 学期制	一般学級: 17	個別支援学級: 5
	児童生徒数: 485 人	主な関係校: 丸山台中学校 丸山台小学校 野庭すずかけ小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	丸中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 ①基本的な生活習慣をつくる態度 ②主体的・積極的 ③自分らしさを発揮する態度	丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校	○いつも元気よく相手や場に応じたあいさつできる子ども ○自他のよさを認め、人とのつながりやかかわりを大切にできる子ども ○主体的に学習に取り組み、学んだことを生活にいかそうとする子ども ○積極的に地域社会に関わろうとする子ども 小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および、研究協議の機会を年2回設定。 ・担当者会議を年4回設定。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定。

中期取組目標	○学校教育目標の実現に向けて、全職員が学校経営に積極的に参加し、活気にあふれた学校づくりを推進します。 ・子どもたちが学習の楽しさを実感できる授業づくりを進め、進んで学習に取り組む意欲を高めます。 ・一人ひとりの子どもが自分のよさに気づき、安心して過ごせる居場所づくりに努めるとともにチームとして子どもたちを育てます。 ・自分の体力に目を向け、改善していく大切さに気づき、より力を高めていこうとする子を育てます。 ・学校・保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td>知</td> <td>確かな学力</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	知	確かな学力	担当	教務部	①国語科や算数科を中心とした個別最適な学びについて、授業研究と協議会を通して教師の指導力を高める。GIGA端末の活用や指導の個別化、特別支援的な視点を特に大切にして研修及び実践提案をする。②横浜市学力・学習状況調査の結果を分析し、職員で共有する。その結果を踏まえ、実態に応じた指導、支援を行う。
知	確かな学力				
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td>徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>領域部会</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	領域部会	①道徳教育の充実を図り、自他のよさに気づき、認め合う心を育てる。②本物に触れる体験的な活動を取り入れる。③読書タイムや読み聞かせ活動、また教科書教材と関連させて本を読む並行読書等の読書活動の充実を図る。④全校であいさつ運動を推進する。
徳	豊かな心				
担当	領域部会				
<table border="1"> <tr> <td>体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教科部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	教科部	①前年度の反省を活かしながら、体育科カリキュラムの系統性を見直し、小学校6年間を通して、計画的に体力向上を図れるようにする。体育読本の動きを映像化したものを発信し、活用していく。②運動用具の環境整備と用具の活用した遊びの提案をし、日常的な体力アップを図り、運動を楽しむ子を育てる。③睡眠をとることの意義を伝え、睡眠を大切にしていけるような啓発活動をしていく。
体	健やかな体				
担当	教科部				
<table border="1"> <tr> <td>公開</td> <td>地域連携</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学校地域コーディネーター</td> </tr> </table>	公開	地域連携	担当	学校地域コーディネーター	コーディネーターを中心に構築してきた支援組織を見直し、学習支援ボランティアの募集や保護者との関わりを充実させ、豊かな学びを支援する。また活動を発信し、学校と地域の連携を深める。②地域の代表者との懇話会を通して地域での様子の情報を共有し、学習や指導に生かす。
公開	地域連携				
担当	学校地域コーディネーター				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ対策防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ対策防止対策委員会	①学校いじめ防止基本方針に基づいて取り組みを行う。学校いじめ防止対策委員会を月一回以上定期的に、児童の様子を把握し未然防止に努め、いじめの発生に対しては素早く対応をしていく。②いじめの捉え方や対応の仕方を職員間で共通認識して、いじめにつながる行動に対応できるようにする。
いじめへの対応					
担当	いじめ対策防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務部	①メンターチーム研修を計画的に行い、互いに授業公開や意見交換の場を作り実践力を高める。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>領域部会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	領域部会	①個別学級担任と交流級担任、特別支援教室担当と担任が丁寧に情報を共有し、どの子どもも安心して学習したり学校生活を送ったりできるような環境を整える。場合によっては、特別支援コーディネーターも交え、その子に応じた指導や支援の方法について学び合っていく。②発達障害の特性等についての理解を深め、全職員で共通理解をし、指導に生かす。
特別支援教育					
担当	領域部会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>指導部</td> </tr> </table>	人権教育		担当	指導部	①あいさつの大切さを知らせ、個々に課題をもって「あいさつ運動」に取り組むよう働きかける。②人権週間で学年ごとに人権を考える授業を行い、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指す。
人権教育					
担当	指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>指導部</td> </tr> </table>	児童指導		担当	指導部	①学年研究会・職員会議の中で定例化した児童理解の場を設け、情報を共有し、問題を共通理解する。②「下野庭スタンダード」を基にした指導の確認をするとともに、児童の状況や支援策を共有し、指導に生かす。
児童指導					
担当	指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>領域部会</td> </tr> </table>	豊かな心		担当	領域部会	①たてわり活動がめあてを意識した活動となるよう、たてわり委員会を中心に年間を通して計画的に行う。②幼保小交流では、グループで相談や話し合いをしながら、1年生と園児と一緒に楽しむ活動を計画し、園児に思いを寄せながら実践していく。
豊かな心					
担当	領域部会				